

視 点

次期医療保険制度改革 に向けた議論が始まる

社会保障審議会医療保険部会が9月11日、次期医療保険制度改革に向けた議論を開始した。具体的な検討項目は今後、厚労省から示される見通したが、年末までに一定の結論を得る必要のある70歳以上の高齢者の窓口負担の見直しをはじめ、公的保険の給付範囲や医療費水準、保険者機能の強化などが今後の焦点となる。

年度内に制度設計や改革の工程等を明確化しなければならない13項目が自民党・日本維新の会の「社会保障改革項目に関する具体的な骨子」に明示されている。70歳以上の高齢者の窓口負担の見直しはその中でも、年内に一定の結論を得る必要のある項目であり、意見集約が最も難しい改革項目の一つと考えられる。

実際、令和7年12月25日に公表した同部会の「議論の整理」では、結論を出さず引き続きの検討にとどめた。9月11日の部会では、窓口負担増となる70歳以上の高齢者が増える方向での見直しに賛成する意見が保険者などから相次ぐ一方で、必要な受診を抑制する見直し案にならないよう丁寧な議論を求める意見が医療団体から出た。自民・維新による骨子には、改革が

社会保険旬報 目次

No.3013 2026年10月1日

座標

上野厚労大臣が内閣改造で再任
一部保険外療養とりまとめ案を了承 4
DX審査支払機構が運営委員9名を決定
日慢協が集約化による質向上を主張 5

レコーダ

厚労省の新局長らへ共同インタビュー
村山次官「厚労省を1つのチームで」
間厚労審「世代間の対立を広げない」 6

霞が関と現場の間で⑧

新組織に移行する支払基金
中村 秀一 13

論評

我が国における費用対効果評価に基づく
総合的評価及び価格調整方法の検討過程について
古元 重和 長谷川 正宇 木戸 太一 14

論評

社会保障改革の骨子の主要項目をめぐる
論点と考察(3)
島崎 謙治 24

潮流

医療保険部会が次期制度改革へ議論開始 33

論評

2026年12月25日施行
「こども性暴力防止法」がスタート
～こどもに対する性暴力は断じて許されない～
吉田 昌司 34

年金の動き 41

編集室・ワードカプセル 42